

## 『担任主導の授業実現を目指す JTE のサポートのあり方———単元：数字の指導を例に』

発表者 林 由香  
(前 三木市立緑が丘中学校・緑が丘東小学校非常勤講師  
Kiddy CAT 英語教室 ラベンダーキッズ主宰)

### ● はじめに

担任主導が望ましい、とされている小学校英語活動であるが、現状としては英語活動に対する担任の不安は大きく、地域人材等のサポートを得られたとしても活動のための十分な打ち合わせの時間が取れないなど、お互いに信頼関係を築き、双方の良さを生かしていくには程遠い状況も起こっている。ここでは担任の不安を取り除き、授業全体のイメージを持って活動できるよう、出来るだけシンプルで応用の利くレッスンの例を提案したい。  
そして、その中で JTE としてどのように関わっていくか、について、実践例を紹介しながら考えたい。

あまりうまくいっていないところでよく見られる傾向・・・

### 担任

- ・ 小学校教諭になる段階では英語を教えるなんて思っていなかった。
  - ・ JTE 等に助けてはほしいが、口出しされ過ぎたくない。
  - ・ 守秘義務や生徒指導の面からもあまり入り込まれすぎても困る。
  - ・ 過度の期待をされても困るし、かといって批判もされたくはない。
  - ・ 英語以外にもしなければならぬことが山のようにあり大変なことをわかってもらいたい。
- その結果… → 不安・丸投げ・無関心・拒絶など

### 地域人材等

- ・ 熱意からついあれもこれもと提案してしまう。
- ・ 公立である、ということの意味を理解しにくく、自分の価値判断で動いたり、意見したりしてしまう。
- ・ 教師に対する過度の期待、出来ないことへの不理解。
- ・ 多人数を相手にすることに慣れておらず、全体を見たり、生徒をコントロールしたりは出来ない人もいる。

その結果… → なぜ??のオンパレード→学校や教師に対する不信感・批判

担任には担任ならではの強みや良さがあり、地域人材には地域人材ならではの強みや良がある一方、そのどちらにも、サポートが必要な弱みも持ち合わせている。  
出来ていないことに目を向けるのではなく、お互いの良さを生かしあえるよう、まずは信頼関係を築き、出来ることから一緒に深めていくことが大切である。

\* 初めから無理をせず、出来るだけシンプルに授業を組み立てる。

\* 大まかな流れをレギュラー化する。 ← これは子どもたちにとっても安心。

JTE は担任の気持ちに寄り添いながら、担任にとって負担が少なく、やろうと思えば出来ることを提案。そのシンプルな枠組みの中で、担任の良さや強みを生かせるようフォローしていく。  
また、英語の専門家として、それぞれの活動がただの遊びに終わってしまわないようフォローする。

- 単元 : 数で遊ぼう (英語ノート1 Lesson 3、英語ノート2 Lesson 1・2)
- 単元の目標 : (1) 数字 1～25  
(2) 活動を通し実際に必要のある表現の中で数字を使う経験をさせる。
- 指導計画

授業の基本的流れ	第一次	第二次	第三次(本時)	第四次
Greeting (あいさつ)	Good morning, everyone. How are you? / I'm ~ . 等			
歌	Body parts の導入 ♪Head,Shoulders, Knees and Toes	Body parts の確認 ♪Head,Shoulders, Knees and Toes	Body parts の確認 ♪Head,Shoulders, Knees and Toes	♪Head,Shoulders, Knees and Toes
アルファベット	* 1			
Review Game (復習)	(前の単元の復習)	1～10 Number Song “Let’s Make 10” Game	1～25 BINGO (個人)	<Quiz 作り> ・ How many coins do I have ? ・ How many legs ? ・ How many eyes does the monster have?
新出事項	1～10 Number Song イカ・タコゲーム 早読み	11～20 “Let’s Make 20” Game 21～25 BINGO (Group) (How many ~ ?) (I have 数.)	How many BINGOs do you have ? I have / We have ~. 5+6+5=16 など	絵を描かせたり 実際に Quiz を作ら せて発表させる。
Closing	* 2			
終わりの挨拶	That’s all for today’s lesson. Good bye, everyone. / Good bye, ○○.			
Individual Check	* 3 挨拶のあと 1 列に並ばせるか席に座ったまま一人一人と会話する。			

\* 1

【アルファベット】

小学校ではアルファベットの文字に慣れ親しませる程度でよいので、アルファベットの歌やクイズを通じて文字の形や音に興味を持たせるよう心がけ、できれば識別できるところまで目指します。そして、簡単な基本単語についても常に目に触れることで、文字のかたまりを見て意味が分かる程度まで馴染ませるといいでしょう。毎回5分のアルファベットの時間でも2年かければ、ずいぶんいろんなことを体験できるので、一連の流れの中で慣れ親しませることを常に心がけましょう。(朝の時間の活用も有効)

\* 2

【Closing】

Closing では、必ず良かった点を褒め、次への意欲や自信につなげます。

\* 3

【Individual Check】

評価のためではありませんが、実際に一人一人に接することで定着度もわかりますし、何より『一人で言えた!』という体験をさせて授業を終わることに意味があると考えています。

## 資料

### 【Game】

- Number Song と早読み  
1～10、10～1、奇数・偶数、3の倍数など変化をつけることによりレベルを調整しながら繰り返し言わせ、口を慣らす。
- イカ・タコゲーム（なべあつゲームの変形）  
8と18の代わりに『タコ』、10の倍数の代わりに『イカ』と言いながらグループで遊ぶ。
- 恐怖の13  
1から順に数字を1つ～3つ続けて言い、13を言わされた人が負けになります。  
数字を既習の範囲(例えば25)に広げて使えます。
- Number Clapping  
その1：あらかじめ決めておいた数字のみ言わずに代わりに手をたたく。  
その2：ナンバーコールを英語で行う。
- Let's Make 10(20) Game  
1 \*(clap) \*(clap) 9 のように足した答えが10になるように clap の間に考えてリズムに合わせて言う。
- BINGO  
3×3、4×4、5×5のようにマス目に数字を書き込み BINGO ゲームを行う。
- How many coins do I have ?  
手に握ったコインの数を当てさせる。
- Missing Game  
あらかじめ黒板に掲示した絵カードを見た後、目を閉じさせて、その間に1～数枚を隠し何がなくなったかを当てさせる。
- 大嵐（フルーツバスケット）

### 【Songs】

- Alphabet Song
  - ・ Click on Phonics（アプリコット社）
  - ・ エリックと英語でうたおう！（アルク）
  - ・ 教室で大活躍！英語の歌&アクティビティ集（アルク）
  - ・ Let's Sing Together SONG BOOK（アプリコット社）
- その他
  - ・ Wee Sing シリーズ
  - ・ Let's Chant, Let's Sing 1（Oxford 社）
- Head, Shoulders, Knees and Toes
- If You Are Happy and You Know It

【数字に関する絵本】（Amazon や洋書・英語教材を扱うショップの検索を使えば簡単に見つかります。）

- Five Little Monkeys Jumping on the Bed
- Halloween なら Five Little Pumpkins / 10 Trick-or-Treaters / Ten Little Witches
- Cookie Count - A Tasty Pop-Up
- CTP 絵本より How many ? / The Skip Count Song
- The Very Hungry Caterpillar / Roll Over / Tiny Boppers
- 子ども向け絵辞典で絵探し Longmann Picture Book Dictionary 4, 17 / アルク 2000 語絵じてん

### 【その他】

- 英語カード.com <http://www.eigo-card.com/>
- クリップアート
- HP 作成のための素材集
- BB カード cf. 『カードで遊んで英語大好き！』『続・カードで遊んで英語大好き！』難波悦子著

# Let's Play BINGO !!

Class \_\_\_\_\_ Name \_\_\_\_\_


How many BINGOs do you have ?

I have  BINGOs !!

できた BINGO の数を書きましょう！！



dog



cat



monkey



lion



koala



tiger



snake



giraffe



hippo



rhino



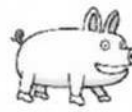
gorilla



elephant



dinosaur



pig



polar bear



fox



rabbit



panda



turtle



zebra

1 one	2 two	3 three	4 four
5 five	6 six	7 seven	8 eight
9 nine	10 ten	11 eleven	12 twelve
13 thirteen	14 fourteen	15 fifteen	16 sixteen
17 seventeen	18 eighteen	19 nineteen	20 twenty

30 thirty	40 forty	50 fifty	60 sixty
70 seventy	80 eighty	90 ninety	100 one hundred
21 twenty-one	22 twenty-two	23 twenty-three	24 twenty-four
25 twenty-five	 red	 green	 blue
yellow	 orange	 black	 pink

## 英語ノートを参考にしたレッスンプランの立て方

『英語ノート』

5年生	単元名	学習内容
L1	世界の『こんにちは』を知ろう	あいさつのマナーを知る・名刺交換をする
L2	ジェスチャーをしよう	
L3	数で遊ぼう	0～20 How many ～ ?
L4	自己紹介をしよう	好き / 嫌い
L5	いろいろな国の衣装を知ろう	買い物 / 意思を伝える
L6	外来語を知ろう	発音の違い / 欲しい物
L7	クイズ大会をしよう	動物 / What's this ?
L8	時間割を作ろう	教科名 / 曜日
L9	ランチメニューを作ろう	食べ物 / 丁寧な表現 (would like)

6年生	単元名	学習内容
L1	アルファベットで遊ぼう	大文字のアルファベット読み
L2	いろいろな文字があることを知ろう	小文字のアルファベット読み / 20 以上の数
L3	カレンダーを作ろう	行事 / 月 / 誕生日
L4	できることを紹介しよう	can
L5	道案内をしよう	街中の建物 / 方向や動きの指示
L6	行ってみたい国を紹介しよう	国名 / want to go
L7	自分の一日を紹介しよう	時差 / 一日の生活 / 時間
L8	オリジナルの劇を創ろう	世界の民話や物語 / 『大きなかぶ』オリジナル劇
L9	将来の夢を紹介しよう	職業 / 将来の夢 / want to be

とても大まかな抜粋ですが、英語ノートが大雑把に捉えてみました。

教科書のようにすべてをやる必要はありませんが、ある程度は触れておきたいことばかりなので、細かい内容そのものをやっていくのではなく、テーマとして大きく捕らえることを提案します。

たとえば、

英語活動の時間は年間 35 時間なので、7～8 くらいのテーマを決めれば平均してひとつのテーマに 3～4 時間かけて取り組むことができます。

今回の『数』も 4 回の流れの中で、**慣れる→慣れる→使う→広げる** という風に組み立ててみました。

英語活動そのものに慣れてくれば、**慣れる→使う→自分たちのアイデア→さらなる活動** のように、同じ時間数でもさらに活動を深めていくことができます。

年間計画の中では、メリハリをつけるためにもいつも 3～4 時間かけるのではなく

2 時間くらいで出来るものを投げ込むときもあれば、

もっと時間をかけて発表につながるような活動に広げていくことも出来ます。

そして、どの活動の中でも **あいさつ→歌・アルファベット→復習→新しいこと→まとめ** の流れを意識しておけば、

後はパーツパーツの活動を考えていっただけでアイデアの引き出しを増やしていくことができます。

2011 年に向け、今のうちにいろんなことを試してみたいと思います。